



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ライオン株式会社

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 濱 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	252,222	5.8	5,643	394.1	6,717	244.6	3,377	—
24年12月期第3四半期	238,287	2.2	1,142	△77.2	1,949	△66.1	87	△90.2

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 8,148百万円 (109.8%) 24年12月期第3四半期 3,883百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年12月期第3四半期	12.58	12.56
24年12月期第3四半期	0.32	0.32

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年12月期第3四半期	256,828		119,170		44.3	
24年12月期	257,595		114,163		42.4	

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 113,648百万円 24年12月期 109,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年12月期	—	5.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	352,000	5.0	10,000	38.6	11,000	28.4	6,000	41.6	22.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	299,115,346 株	24年12月期	299,115,346 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	30,824,313 株	24年12月期	30,713,613 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	268,369,909 株	24年12月期3Q	268,646,650 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】p.6「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) セグメント情報等	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成25年1月1日～9月30日)のわが国経済は、消費者物価に下げ止まりの兆しがみられる中、個人消費が持ち直すとともに、企業収益が改善するなど、回復基調にありました。

当社グループが主に事業を展開する国内一般用消費財業界は、市場の販売単価に下げ止まりの傾向がみられましたが、依然として店頭での激しい販売競争が続き、厳しい事業環境にありました。

このような環境の中、当社グループは、中期経営計画「V-1計画(Vision 2020 Part 1)」の4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しました。

国内事業では、歯刷子、制汗剤、柔軟剤、布製品用消臭剤、点眼剤等の新製品をはじめとする高付加価値製品の育成に取り組むとともに、販売促進費の効率化等を進め、収益性の改善を図りました。また、通信販売商品においては、機能性食品等の広告宣伝を強化し、事業規模の拡大を図るとともに、女性用エイジングヘアケア分野の新製品を発売し、事業領域の拡大を図りました。

海外事業では、タイを中心にオーラルケア、洗濯用洗剤等の主要分野において重点ブランドの育成を進めるとともに、フィリピンにおいて営業を開始しました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上高2,522億2千2百万円(前年同期比5.8%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比は1.4%増)、営業利益56億4千3百万円(同394.1%増)、経常利益67億1千7百万円(同244.6%増)、四半期純利益33億7千7百万円(同32億8千9百万円増)となりました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	252,222		238,287		13,934	5.8%
営業利益	5,643	2.2%	1,142	0.5%	4,500	394.1%
経常利益	6,717	2.7%	1,949	0.8%	4,767	244.6%
四半期純利益	3,377	1.3%	87	0.0%	3,289	—

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益(営業利益)			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	188,302	188,147	154	0.1%	3,195	△1,149	4,345	—
産業用品事業	37,366	36,459	907	2.5%	613	214	398	185.4%
海外事業	56,909	43,278	13,630	31.5%	1,187	1,269	△82	△6.5%
その他	20,724	22,090	△1,365	△6.2%	594	772	△177	△23.0%
小計	303,302	289,976	13,326	4.6%	5,590	1,107	4,483	404.9%
調整額	△51,080	△51,688	608	—	52	34	17	49.3%
合計	252,222	238,287	13,934	5.8%	5,643	1,142	4,500	394.1%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比0.1%の増加となりました。セグメント利益は、高付加価値製品の育成や販売促進費の効率化等により競争費用が減少し、前年同期比43億4千5百万円の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	188,302		188,147		154	0.1%
セグメント利益	3,195	1.7%	△1,149	—	4,345	—

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では16,557百万円、前第3四半期では16,474百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	35,349	36,253	△903	△2.5%
ビューティケア分野	14,338	15,299	△961	△6.3%
ファブリックケア分野	57,519	56,231	1,288	2.3%
リビングケア分野	15,136	15,421	△285	△1.9%
薬品分野	26,071	26,182	△111	△0.4%
その他の分野	39,887	38,759	1,127	2.9%

(オーラルケア分野)

歯磨は、主力の「デンターシステム」や改良発売した「ハイテクト」が好調に推移しましたが、「デンタークリアMAX^{マックス}」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

歯刷牙は、極薄ヘッドと極細ネックで奥歯の奥までブラシが届いてしっかり磨ける新製品「クリニカアドバンテージハブラシ」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期比微増となりました。

口中剤は、「デンターシステム」のデンタルリンスが堅調に推移しましたが、洗口液「プラチアス 歯の美容液」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、改良発売した「キレイキレイ 薬用泡ハンドソープ」が好調に推移しましたが、液体タイプが伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

制汗剤は、独自のマイクロパウダー配合でサラサラ感が持続する、ミスト状で出るウォータータイプの新製品「Ban^{バン}シャワーデオドラント」がお客様のご好評を得ましたが、主力のパウダースプレーが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ファブリックケア分野)

洗濯用洗剤は、市場規模の拡大が続く液体市場で、洗うたびに衣類の抗菌力が高まる「トップ H^ハY^イG^ジI^アA」や「トップ クリアリキッド」が好調に推移しましたが、粉末洗剤が市場規模縮小の影響を受け、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

柔軟剤は、「香り&デオドラントのソフラン アロマリッチ」シリーズが好調に推移するとともに、改良発売した「香り&デオドラントのソフラン アロマナチュラル」シリーズがお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、スプレーするだけで除菌、抗菌、ウイルス除去ができる「トップ H^ハY^イG^ジI^アA 衣類・布製品の除菌・消臭スプレー」を新発売し、お客様のご好評を得ました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、食器洗い機に残るニオイの原因となる“ニオイ汚れの膜”まではがしとる新製品「CHARMY^{チャーミー} クリスタ 消臭ジェル」がお客様のご好評を得ましたが、「CHARMY^{チャーミー} 泡のチカラ」シリーズが伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」が好調に推移するとともに、抗菌成分配合で、“ニオイ菌”を抑える新製品「ルックまめピカ 抗菌プラス トイレのふき取りクリーナー」がお客様のご好評を得ましたが、「トイレのルック」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、主力の「バファリンA」が競争激化の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

点眼剤は、年齢や目の酷使によるつらい眼疲労・目やになどによる目のかすみに優れた効果を発揮する新製品「スマイル40 プレミアム」、清涼感をおさえたマイルドなさし心地の新製品「スマイル40^{イーエックス} E X ゴールドマイルド」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

殺虫剤は、主力のくん煙剤「バルサン」シリーズが市場規模縮小の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、機能性食品等で主力の「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が好調に推移するとともに、女性のふんわり髪をサポートするエイジングヘアケアシリーズの新製品「Fleuria^{フルリア}」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ペットキレイ ニオイをとる砂」が堅調に推移しましたが、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

＜産業用品事業＞

当事業では、油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗浄剤等を取り扱っており、全体の売上高は、前年同期比2.5%の増加となりました。セグメント利益は、収益性の高い製品が伸長したことなどにより、前年同期比185.4%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	37,366		36,459		907	2.5%
セグメント利益	613	1.6%	214	0.6%	398	185.4%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では14,652百万円、前第3四半期では14,290百万円となっております。

油脂活性剤は、洗剤やシャンプー等の原料が好調に推移し、全体の売上は前年同期比微増となりました。

導電性カーボンは、海外向けの電子部品用途等が順調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

業務用洗浄剤は、ハンドソープ、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移し、全体の売上は前年同期をかなり上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、韓国、中国等において事業を展開しており、全体の売上高は、前年同期比31.5%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は6.1%の増加)となりました。セグメント利益は、市場地位向上に向けて競争費用を増加させたため前年同期比6.5%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	56,909		43,278		13,630	31.5%
セグメント利益	1,187	2.1%	1,269	2.9%	△82	△6.5%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では2,951百万円、前第3四半期では2,292百万円となっております。

(主要国の状況)

タイでは、「システム」歯刷牙が好調に推移するとともに、洗濯用液体洗剤「パオ ウィンウォッシュリキッド ブラック&ダーク」を新発売し、全体の売上は前年同期をかなり上回り、円貨換算でも大幅に上回りました。

韓国では、ハンドソープ「キレイキレイ」、洗濯用洗剤の液体「ビート」が好調に推移しましたが、台所用洗剤が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比微増となりました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

中国では、「システム」歯刷牙が好調に推移しましたが、携帯用歯磨セット等の輸出が減少し、全体の売上は前年同期を下回りました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

<その他>

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	20,724		22,090		△1,365	△6.2%
セグメント利益	594	2.9%	772	3.5%	△177	△23.0%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では16,919百万円、前第3四半期では18,630百万円となっております。

その他では、建設請負事業が伸びなやみ、全体の売上高は、207億2千4百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は、5億9千4百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期における資産、負債および純資産の状況

(連結財政状態)

	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	256,828	257,595	△767
純資産（百万円）	119,170	114,163	5,006
自己資本比率※1（%）	44.3	42.4	1.8

※1：自己資本比率は、（純資産－新株予約権－少数株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して7億6千7百万円減少し、2,568億2千8百万円となりました。純資産は、50億6百万円増加し、1,191億7千万円となり、自己資本比率は44.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月2日に公表いたしました通期の連結業績予想については、変更しておりません。

わが国経済は、引き続き個人消費や企業収益等の改善が見込まれる一方、世界経済は、米国の金融政策の動向や新興国の景気減速等、先行き不透明な状況が続くものと想定されます。

当社グループが主に事業を展開する国内一般用消費財業界では、原材料価格の上昇が見込まれることに加え、店頭における激しい販売競争が続くものと予想されますが、引き続き重点ブランドの育成に取り組むとともに、トータルコストダウンならびに競争費用の効率化を進め、収益性の向上を目指してまいります。

(当期業績予想値算出の前提条件)

主要な為替レートは、95円/米ドル、3.2円/パーツとしています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,149	16,240
受取手形及び売掛金	51,218	47,037
有価証券	16,358	18,742
商品及び製品	20,383	23,630
仕掛品	3,496	4,072
原材料及び貯蔵品	7,954	8,463
その他	5,527	5,581
貸倒引当金	△41	△39
流動資産合計	131,047	123,728
固定資産		
有形固定資産	61,955	66,829
無形固定資産		
商標権	15,301	12,507
その他	2,453	2,091
無形固定資産合計	17,754	14,599
投資その他の資産		
投資有価証券	28,564	32,301
その他	18,312	19,412
貸倒引当金	△39	△44
投資その他の資産合計	46,837	51,670
固定資産合計	126,547	133,099
資産合計	257,595	256,828
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,530	39,097
短期借入金	5,943	8,644
1年内返済予定の長期借入金	2,416	22,466
未払金及び未払費用	39,650	32,177
未払法人税等	1,532	1,396
賞与引当金	1,928	2,547
返品調整引当金	664	656
販売促進引当金	408	664
役員賞与引当金	147	155
その他	2,920	3,050
流動負債合計	96,142	110,857
固定負債		
長期借入金	22,670	233
退職給付引当金	19,231	19,185
役員退職慰労引当金	331	372
資産除去債務	324	340
その他	4,731	6,667
固定負債合計	47,288	26,799
負債合計	143,431	137,657

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,499	31,499
利益剰余金	57,996	58,690
自己株式	△16,656	△16,721
株主資本合計	107,273	107,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,688	6,010
繰延ヘッジ損益	6	△9
為替換算調整勘定	△1,708	△254
その他の包括利益累計額合計	1,987	5,746
新株予約権	129	177
少数株主持分	4,772	5,344
純資産合計	114,163	119,170
負債純資産合計	257,595	256,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	238,287	252,222
売上原価	104,110	111,045
売上総利益	134,177	141,177
販売費及び一般管理費	133,034	135,533
営業利益	1,142	5,643
営業外収益		
受取利息	110	156
受取配当金	321	386
持分法による投資利益	498	477
受取ロイヤリティー	160	189
為替差益	45	126
その他	288	351
営業外収益合計	1,426	1,688
営業外費用		
支払利息	528	528
その他	90	85
営業外費用合計	619	614
経常利益	1,949	6,717
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,297
固定資産処分益	297	39
特別利益合計	297	1,337
特別損失		
減損損失	77	803
固定資産処分損	260	261
投資有価証券評価損	505	—
特別損失合計	842	1,064
税金等調整前四半期純利益	1,404	6,989
法人税、住民税及び事業税	1,531	2,041
法人税等調整額	△688	980
法人税等合計	843	3,022
少数株主損益調整前四半期純利益	561	3,967
少数株主利益	473	590
四半期純利益	87	3,377

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	561	3,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,973	2,281
繰延ヘッジ損益	△1	△16
為替換算調整勘定	340	1,865
持分法適用会社に対する持分相当額	9	50
その他の包括利益合計	3,322	4,180
四半期包括利益	3,883	8,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,306	7,136
少数株主に係る四半期包括利益	577	1,011

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般用消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	171,673	22,169	40,985	3,459	238,287	—	238,287
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	16,474	14,290	2,292	18,630	51,688	△51,688	—
計	188,147	36,459	43,278	22,090	289,976	△51,688	238,287
セグメント利益又は損失 (△)	△1,149	214	1,269	772	1,107	34	1,142

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額 34 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般用消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	171,745	22,713	53,957	3,805	252,222	—	252,222
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	16,557	14,652	2,951	16,919	51,080	△51,080	—
計	188,302	37,366	56,909	20,724	303,302	△51,080	252,222
セグメント利益	3,195	613	1,187	594	5,590	52	5,643

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 52 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

連結子会社間の合併

当社は、平成25年10月31日開催の取締役会において、当社の100%連結子会社である獅王日用化工（青島）有限公司（以下「青島ライオン」という。）と、獅王（中国）日用科技有限公司（以下「中国ライオン」という。）の合併について決議いたしました。

I. 合併の目的

当社グループの中国における既存事業を担う青島ライオンと今後の事業拡大に備え設立した中国ライオンについて、経営資源の集約による一層の効率化を目的として両社を合併することといたしました。

II. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併契約承認取締役会：（青島ライオン、中国ライオン） 平成25年11月 8 日
 合併契約締結：（青島ライオン、中国ライオン） 平成25年11月 8 日
 合併株主承認：（青島ライオン、中国ライオン） 平成25年11月 8 日
 合併： 平成26年10月（予定）
 （効力発生日）

(2) 合併方式

青島ライオンを吸収合併存続会社、中国ライオンを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式で、中国ライオンは解散します。なお、本件合併に際し、青島ライオンから中国ライオンの株主に対して出資金その他の金銭等の割当ては行いません。

(3) 消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

III. 合併当事会社の概要（平成25年10月31日現在）

(1) 商号	獅王日用化工（青島）有限公司 （存続会社）	獅王（中国）日用科技有限公司 （消滅会社）
(2) 事業内容	歯磨、歯刷子等の製造販売および輸出	歯磨、歯刷子等の製造販売
(3) 設立年月日	昭和63年1月24日	平成23年6月15日
(4) 所在地	中華人民共和国 青島経済技術開発区太行山路336号	中華人民共和国 青島経済技術開発区太行山路336号1号
(5) 代表者の 役職・氏名	董事長 小林 健二郎	董事長 小林 健二郎
(6) 資本金	72,397万円	3,350万米ドル
(7) 決算期	12月31日	12月31日
(8) 大株主および 持株比率	ライオン株式会社 100%	ライオン株式会社 100%

IV. 合併後の存続会社青島ライオンの状況（予定）

商号：獅王日用化工（青島）有限公司

資本金：約4,020万米ドル

代表者：小林 健二郎

事業内容、決算期、大株主および持株比率に変更はありません。

V. 今後の見通し

本件合併は、当社の100%連結子会社2社間の合併のため、当社グループの連結業績に与える影響はありません。